

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2025年11月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第9回仙台国際音楽コンクール最高位受賞記念リサイタルを開催します。

第9回仙台国際音楽コンクール両部門最高位受賞者によるリサイタルが間もなく開催されます！
今回はコンクール優勝から半年を経たお二人にメールでのインタビューをお願いしました。
チケット情報はコンクール公式サイトよりご確認ください！

ヴァイオリン部門最高位 ムン・ボハ

ー最高位を受賞してから、何をして過ごしていましたか？

コンクールの直後に、アメリカの「ラヴィニア・スティーンズ・インスティテュート」に参加して、ソロと室内楽曲をたくさん勉強しました。その後は、複数のコンサートへの出演のためにプラハに滞在してから音楽院に戻りました。

授業やコンサート、リハーサルでとても忙しい日々でした！！

ーリサイタルについて、改めて曲目を紹介していただけませんか。

はい、今回は私の愛する曲を選びました。

ダラピッコラ：タルティーニアーナ 第2番

ジュゼッペ・タルティーニの音楽に着想を得ており、18世紀のテーマを現代的視点から再解釈しています。バロック様式と現代様式が融合し、過去と現在の対話を生み出しているのが特徴です。

グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調 op.13

このソナタには、ノルウェーの民族音楽の要素、例えば舞踏のリズムなどが含まれています。彼は結婚直後にこの曲を書き上げ、その喜びが音楽にも反映されています。

シューベルト：幻想曲 ハ長調 D934

シューベルトが晩年に作曲した、ヴァイオリンとピアノのための極めて技巧的な作品です。自身の歌曲「Sei mir gegrüßt」の変奏を用いて、詩的な美しさ、情感の深み、和声の冒険を表現しています。

ヴィエニャフスキ：「ファウスト」の主題による幻想曲 op.20

ポーランドの作曲家で、ヴァイオリニストでもあるヴィエニャフスキは、超絶技巧的な作品で知られています。この曲は当時とても人気があったグノーのオペラ「ファウスト」の主題に基づいていて、ヴァイオリンの幅広い色彩、技巧、表現を探索しています。



ー共演するチェルシー・ワンさんはどのような方ですか？

彼女は温かくて、明るくて、本当に素晴らしい方です!!これまでずっと一緒に演奏してみたいと思っていたのですが、今回私の師事するカヴァフィアン先生が直接オファーしてくださり共演することが叶いました。

11月上旬に初めて直接お会いしてリハーサルをして、人間的にも、音楽的にも波長が合いました!リサイタルで共演するのが楽しみです!

ー最後に、日本のみなさまへメッセージをお願いします。

私の音楽を愛してくださり、本当にありがとうございます。みなさんからいつもたくさんの愛とエネルギーをいただいています。

リサイタルにむけて一生懸命練習してきたので、今回演奏する作品の美しさと、私の思いをみなさんと共有することができれば嬉しいです!

最高位受賞記念リサイタル【東京公演】公演概要

ムン・ボハ ヴァイオリンリサイタル
日時：2025年12月5日(金) 19:00開演

エリザヴェータ・ウクラインスカヤ
ピアノリサイタル

日時：2025年12月17日(水) 19:00開演

【会場】浜離宮朝日ホール

朝日ホール・チケットセンター、チケットぴあ、ローソンチケット、イープラスで販売中



公演情報はこちら



■お問い合わせ／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel:022-727-1872 Fax:022-727-1873 Email:info@simc.jp URL:https://simc.jp

エリザヴェータ・ウクラインスカヤ(ピアノ部門優勝)

ーコンクールで優勝してから、何をして過ごしていましたか？

優勝後、ヨーロッパのマネジメント会社がついてくれることになり、およそ40公演に出演しました。加えて、11月だけでもロシア、ベラルーシ、オーストリア、ドイツで14のコンサートで演奏しました。

また、オーストリア、ドイツ、ロシアを中心にたくさん旅をしました。登山したり、湖にも行きました。1カ月間まったくピアノを弾かずに過ごしました！

今は本を執筆したり、リサイタルの準備を進めています。

ーコンクール後、初めての来日となるかと思います。

来日した際にやってみたいことはありますか？

東京でのリサイタルは初めてで、これまでしっかりと滞在したことはありませんでした。

ですから、今回は東京の様々な観光スポットを巡ってみたいと思っています！特に、ジブリが大好きなので三鷹の森ジブリ美術館には必ず行きたいです！



ーリサイタルについて、改めて選曲理由を教えてください。

私自身がとっても愛していて、日本のみなさまにもきっと楽しんでいただける曲を選びました。どの曲も新鮮な響きを持っていると思います。

プロコフィエフの『「シンデレラ」からの10の小品』は、若々しい活気と光に満ちた音楽です。まるで「愛がすべての常識を越えて勝つ」ような物語の世界に連れて行ってくれます。

ラフマニノフの「楽興の時」は、プロコフィエフとは対照的に色彩がより濃く、深い内面世界へと沈んでいきます。年齢とともに好きな曲も変わっていくので、全6曲のなかからお気に入り1曲を見つけてほしいです。

最後に、リサイタル後半の中心としてムソルグスキーの『組曲「展覧会の絵」』を据えました。私はこの作品を「自己の内面への旅」、そして「死と再生の物語」と解釈しています。この作品の中には表面的な要素と、その背後に潜む哲学的な要素の2つが存在しています。

例えば「グノーム」に言及すると、見た目には奇怪で怖い存在ですが、実は他者を傷つけ、自らも苦しむ壊れた魂の象徴です。この作品を演奏していると、鳥肌が立つことがよくあります。この聖なる行動の感覚を、聴いてくださる皆さんとも共有できたらうれしいです。

ー最後に、日本のみなさまへメッセージをお願いします。

親愛なる日本のみなさまのために演奏し、私の生きる意味である音楽をお届けできることを本当に嬉しく思っています。少し大げさに聞こえるかもしれませんが、この世に愛と音楽ほど尊いものはないと思います。

みなさまとリサイタルでお会いできることを楽しみにしています。愛と音楽にあふれる会場にしましょう！

第9回仙台国際音楽コンクール公式ライブCD発売決定！

ムン・ボハ ヴァイオリン部門最高位

FOCD9927

〔収録曲〕

ブルッフ:スコットランド幻想曲 op.46

ドヴォルザーク:ヴァイオリン協奏曲 イ短調 op.53

モーツァルト:カッサシオン長調 K63

〔指揮〕広上 淳一

〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団



ピアノ部門優勝
エリザヴェータ・ウクラインスカヤ

FOCD9928

〔収録曲〕

モーツァルト:ピアノ協奏曲 Ⅷ長調 K467

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

〔指揮〕高関 健

〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団



定価:2,640円(税込) (2025年12月3日発売)

取り扱い:全国のCDショップほか

販売元:株式会社フォンテック

制作:公益財団法人仙台市民文化事業団